



# WELCOME TO HEARTS VILLAGE

## アメ車と遊びにまつわる狂想曲。

発行: HEARTS RIZING 監修: (株) スイッチブレイド・スマイル

Vol.031  
毎月1日発行  
<http://heartsrizing.com/>

★U.S.CAR 系  
KUMAMOTO SIMONA BASE  
SUV&TRUCKIN'

こんな大人のワガママを応援したい

# 兵庫在住、熊谷さん46歳、男性……

「ドアを閉めた瞬間、あの場所にいける喜び」

先月の30号記念「山本夫婦登場」は、今までにない反響のデカさ(笑)。ビックリ。改めて、ご感想を頂いた皆さんに御礼申し上げます。さて今月は、先日とお客様からメールを頂いたことで、高揚感を感じた話をしたい。その送り相手は「熊谷さん」。文頭には、「春先から車を探している、ハーツさんの方向性と自分の探しているものが合っているように感じ、是非一度見学したい」とある。熊谷さんは今まで、ボルボ850↓ベントレー320ワゴン↓ボルシェ911(964)と欧州車を持ち主。しかし、なにかしっくり来ないのと、子供の学費に迫られて最終的には手放すはめに。そして3年ほど、残債を払いつつ車のない生活を送られていたようだ。「まあこのまま、車はなくてもいいか」。そう思っているが、心の奥に潜む「ポツカリとした穴」。この空虚な……、なんだろ? そんな時、あるキッカケでハーツに出会ったそう。

「もう一度、自分に合った車探しをしよう」。車を必要としない(≠持つ

ている場合じゃない)という生活がフツウだった熊谷さんの気持ちに、小さな火が灯された。すると、昔感じていたワクワク・ドキドキ感が体中を走り抜けた。と同時に衝動に駆られ、「自分らしい好きな車のスタイル」を模索し始めた。そして、知らず知らず抑えていた「自分のワガママ(「こだわり」)をおもいつきり放出。すると、なんだろう? とても自由に開放的になって、あつたかな幸福感に満ちている自分がそこにいた……。



真四角な社会の中で、不条理なルールに従わされ、それでも毎日ボクらは生きなければならぬ。やれ住宅ローンや保険、生活費を気にし、平日は上司や部下との間で日々葛藤し、たまの土日は家族孝行。気づけばただただ

時(とき)は過ぎ、鏡を見たら「すっかり老けた」自分が映る。年末最後に「来年こそは、自分の好きなことするゾー」と誓い、また来年同じことを思う。30、40代なんか、それが当たり前だろう。けど、ちょっと立ち止まって振り返ってほしい。10、20代にそんな気持ちでしたか? そろそろ、少しだけワガママになってもいいと思いませんか。頑張ってるんですから。ボクらは今日もアメ車に乗り、ドアを「パタッ」と閉めた瞬間。また、いつもと違う自分に会いにいこう。そして、家族を連れて海山へキャンプに、仲間と泊まりでダベリングしたり。そんな何気なくも「特別な」時間を過ごしてほしい。そう思って、ハーツを創業した気持ちに自信を持たせてくれた熊谷さんに、心から感謝する。



(有)ハーツライジング 代表・山本英俊

AUTOMOBILE  
**HEARTS RIZING**  
PROMOTER